

	<h1 style="text-align: center;">進取の気概</h1> <p style="text-align: center;">(校長室だより)</p>	<p style="text-align: center;">有田市立箕島中学校</p> <p style="text-align: center;">自主 友愛 剛健</p>	<p style="text-align: center;">R5-9-29</p> <p style="text-align: center;">No.23</p>
---	--	--	---



昔から一年でもっとも明るく美しい月は、旧暦8月15日に昇るとされてきました。旧暦では7～9月が秋、8月15日の月は秋のちょうど真ん中の日の月ですので「中秋の名月」と言われています。そして、旧暦の8月15日は2023年では今日の9月29日にあたります。今日の月は「中秋の名月」となります。

現代のように夜が電気で照らされることのなかった時代、当時の人々にとっては、夜を照らす月の満ち欠けは大きな関心事でした。月を見る機会は現代に生きる私たちよりも多かったことだと想像できます。

ところで中秋の名月（旧暦8月15日の月）を鑑賞する風習は中国から伝わり、平安時代には宮中行事になり、詩や物語にも残されています。やがて月見の風習は庶民にも広がり、この時期に収穫された作物を月にお供えし、実りに感謝する収穫祭と結びついていき

ました。

ススキは神様が宿っていて魔除けの縁起物だそうです（ススキは茎の内部が空洞のため神様の宿り場となり、その鋭い切り口は魔除けになると考えられました）。また、月に供えたススキを軒下につるしておく、病気にかからないと言われていています。満月を真似た団子は月への感謝を表しています。その数は十五夜にちなんで15個、1年の月の数にちなんで12個などの

説があります。（今日の給食のスープにも丸い団子が入っていましたね。）

朝夕、涼しくなり、夜には美しい虫の声も聞こえてきます。空気が澄んで、今日の夜は満月がくっきりときれいに見えるはず（年によっては中秋の名月が満月とは限りません）。今日の夜はぜひ夜空を見上げてみましょう。

